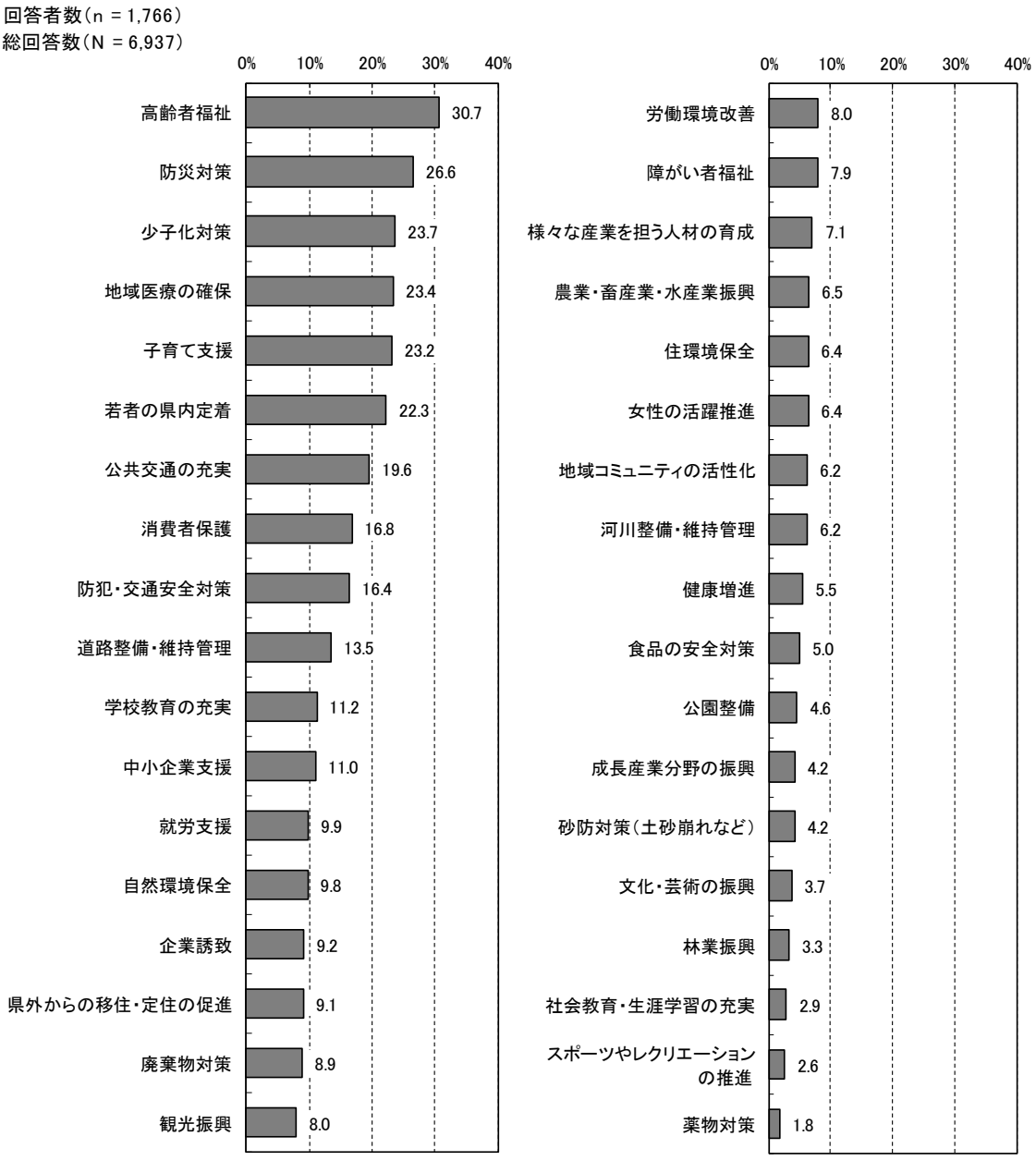
問１１　重点的に進めるべきだと思う分野

問１１　あなたは、今後、県がどのような分野を重点的に進めるべきだと思いますか。 （５つまで）

全体(図 11-1)でみると、「高齢者福祉」が 30.7%と最も高く、次いで「防災対策」(26.6%)、「少子化対策」(23.7%) の順となっている。

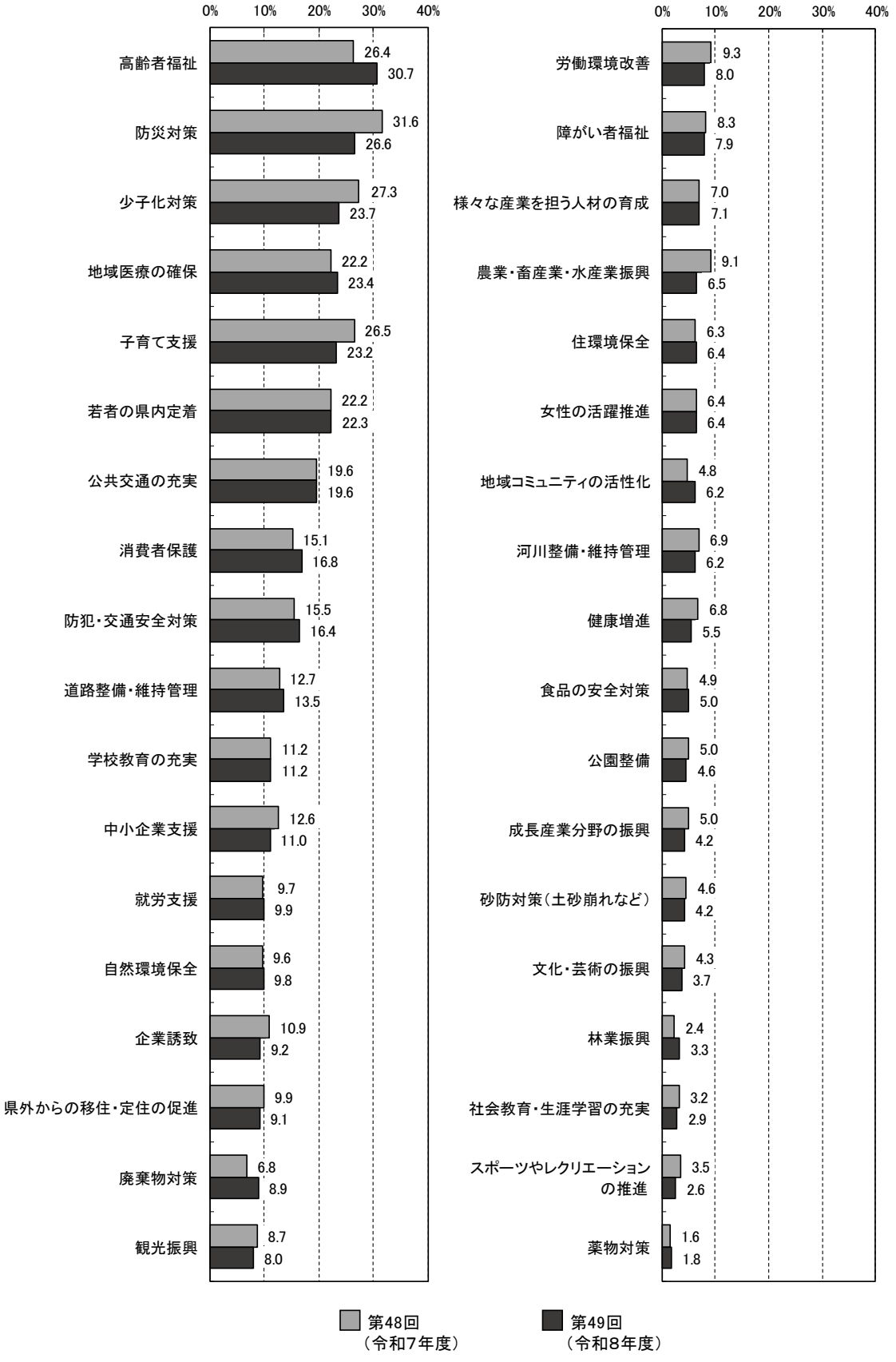
図 11-1　重点的に進めるべきだと思う分野



※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全:騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

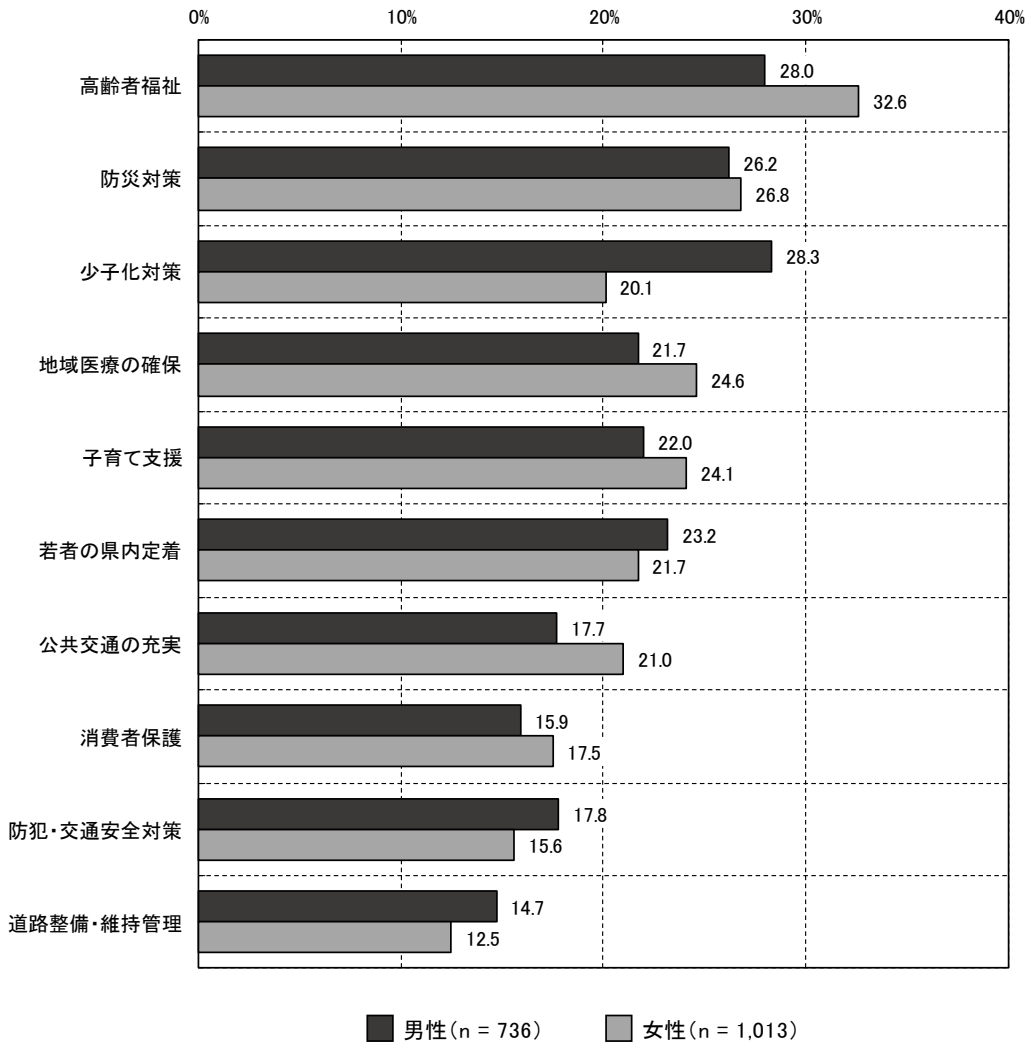
前回比較（図 11-2）でみると、前回第 4 位の「高齢者福祉」が最も高くなり、前回第 1 位の「防災対策」は第 2 位となっている。

図 11-2 【前回比較】重点的に進めるべきだと思う分野



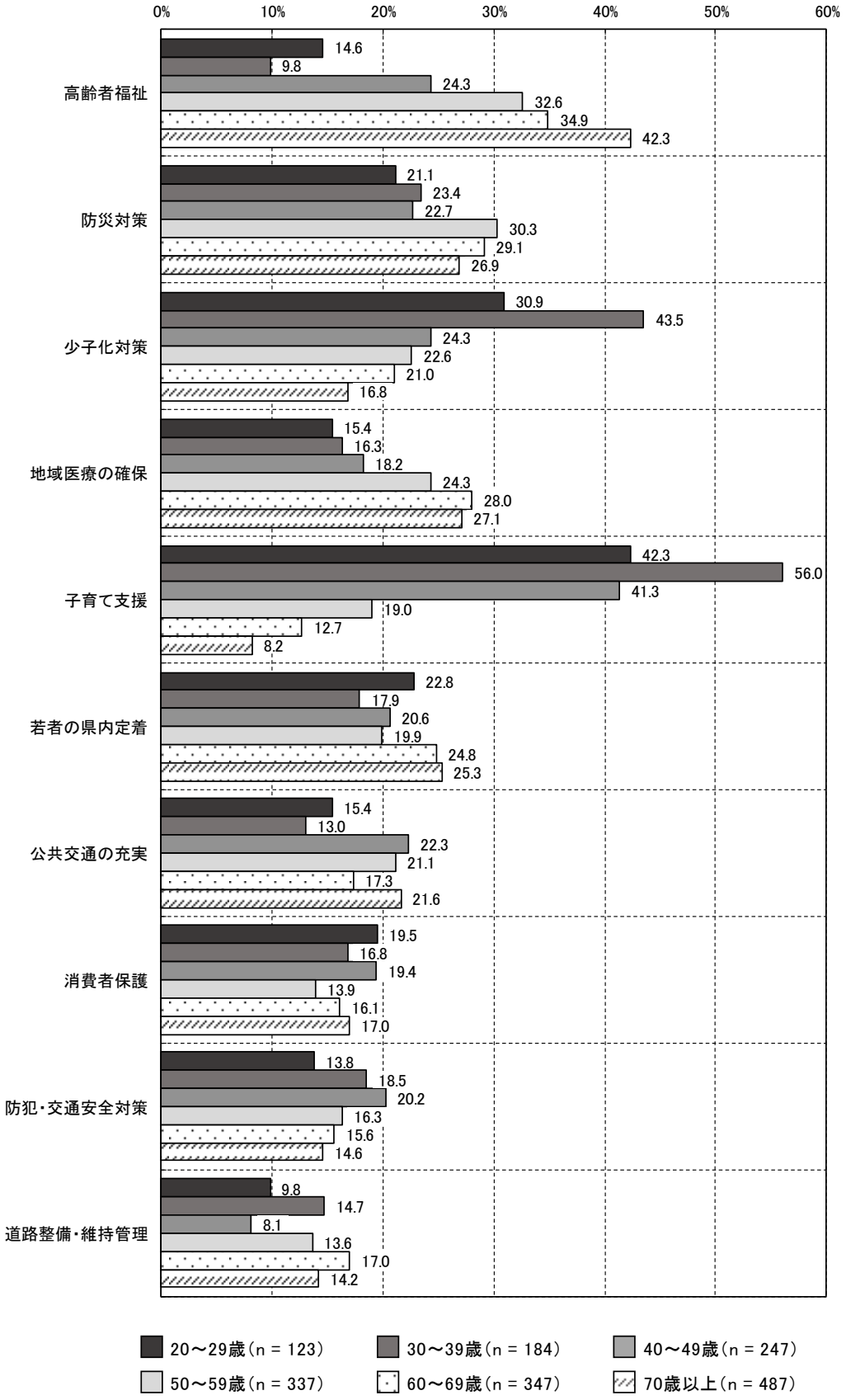
性別（図 11-3）でみると、男性では「少子化対策」（28.3%）が最も高く、女性では「高齢者福祉」（32.6%）が最も高くなっている。

図 11-3 【性別】 重点的に進めるべきだと思う分野（上位 10 施策）



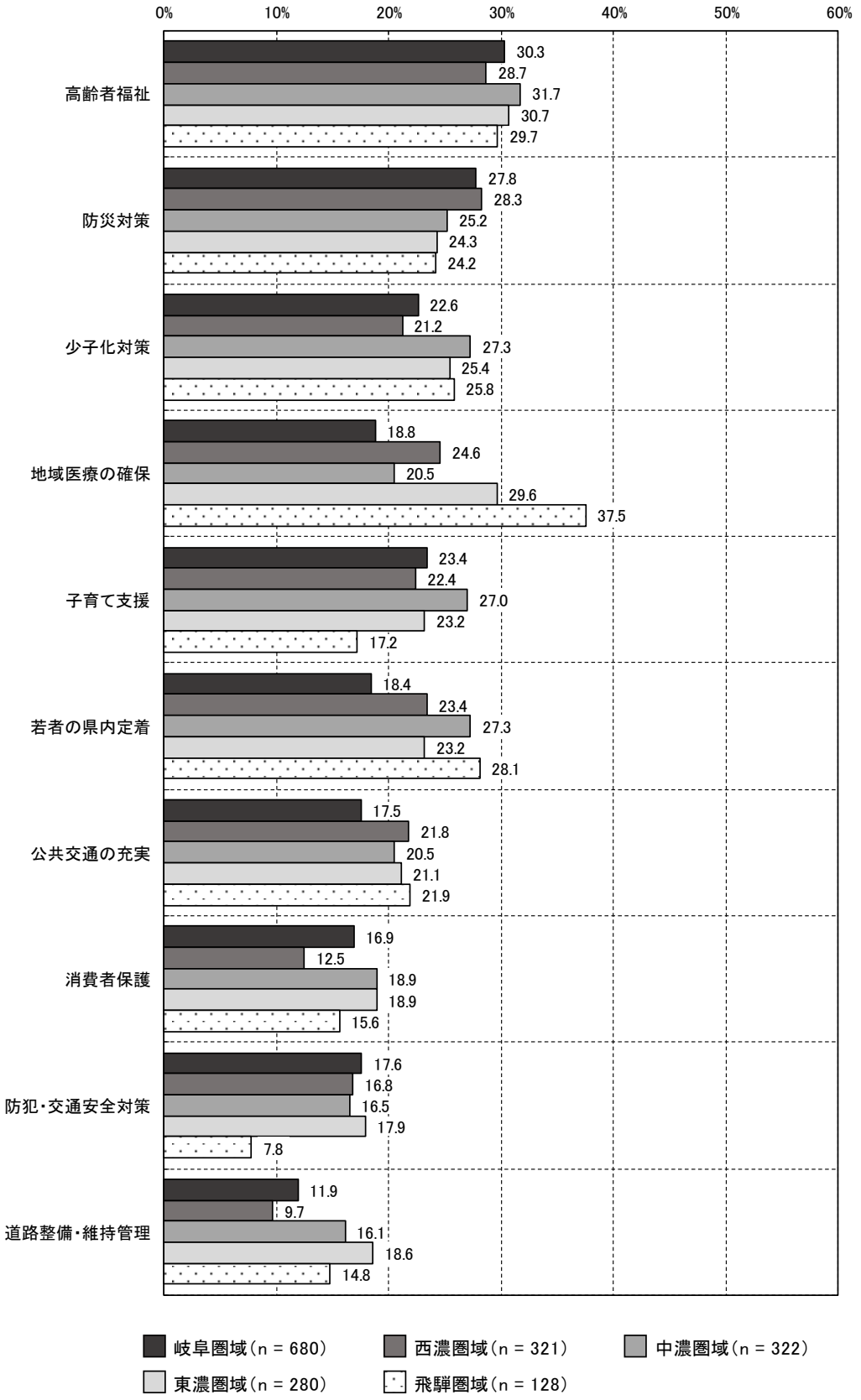
年代別（図 11-4）でみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「子育て支援」、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 11-4 【年代別】 重点的に進めるべきだと思う分野（上位 10 施策）



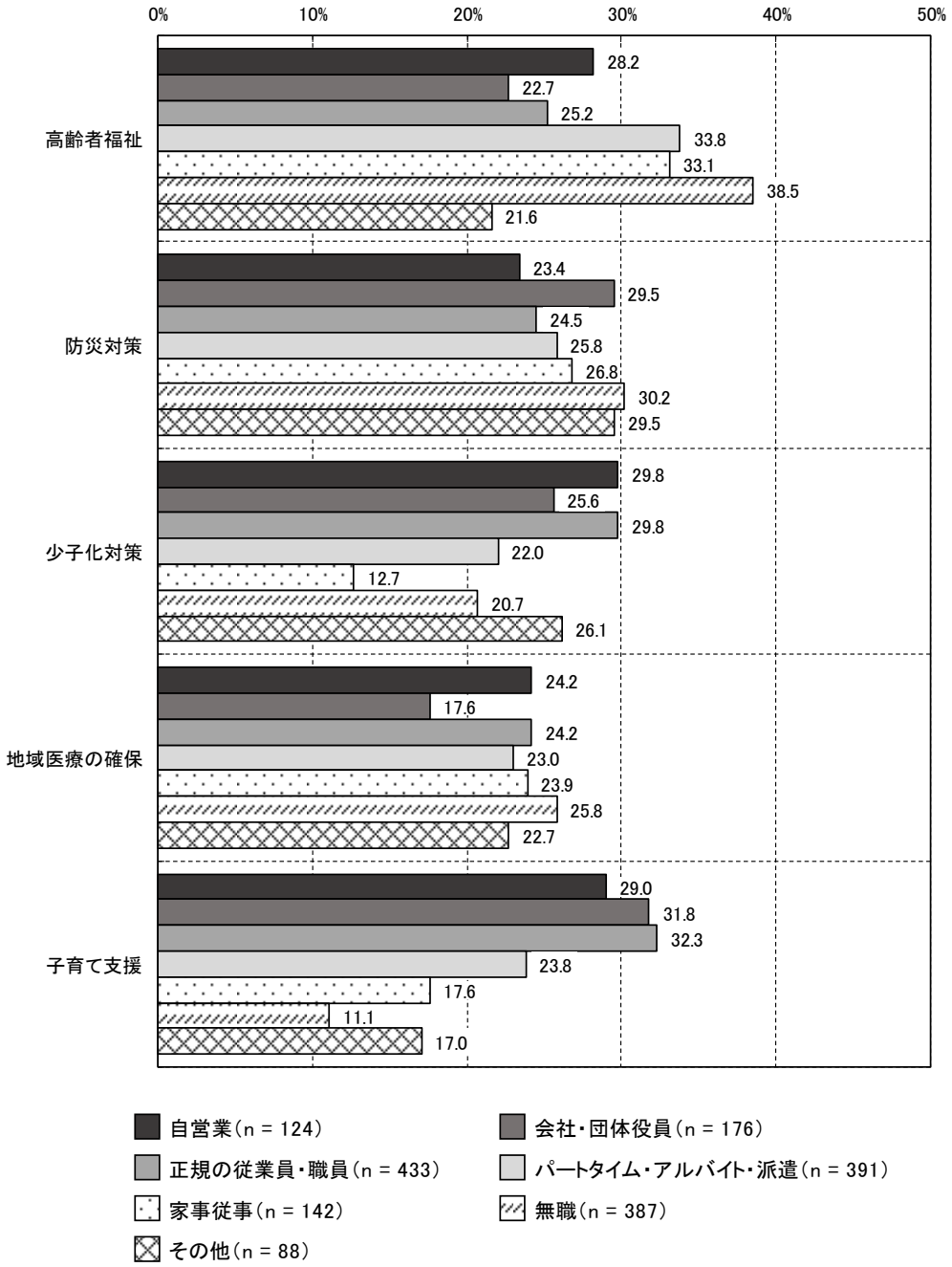
居住圏域別（図 11-5）でみると、飛騨圏域を除くいずれの居住圏域においても「高齢者福祉」が最も高く、飛騨圏域では「地域医療の確保」が最も高くなっている。

図 11-5 【居住圏域別】 重点的に進めるべきだと思う分野（上位 10 施策）



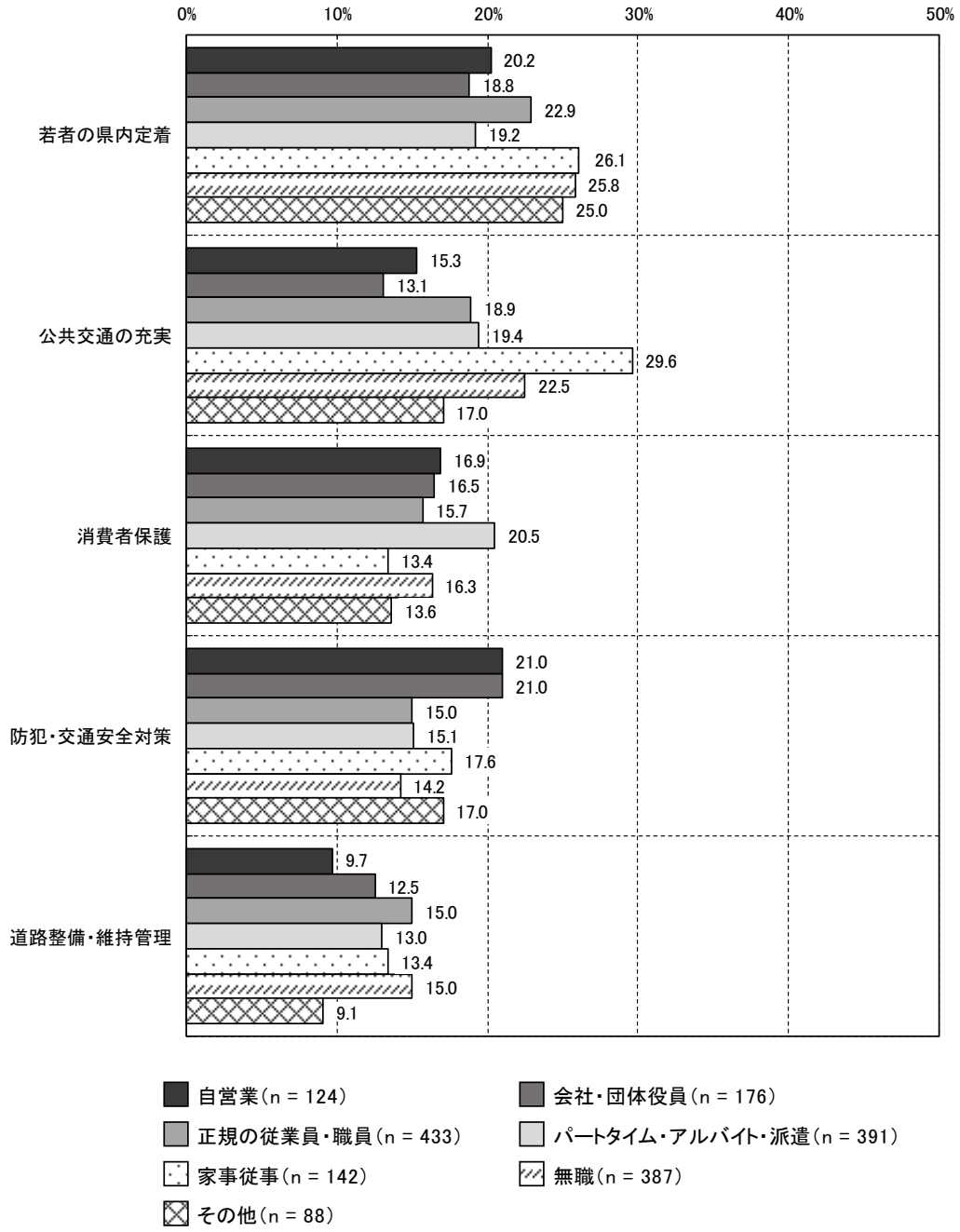
職業別（図 11-6）でみると、パートタイム・アルバイト・派遣、家事従事、無職では「高齢者福祉」、その他では「防災対策」、自営業では「少子化対策」、会社・団体役員、正規の従業員・職員では「子育て支援」がそれぞれ最も高くなっている。

図 11-6 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野（上位 10 施策）



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 11-6 【職業別】 重点的に進めるべきだと思う分野 （続き）



※ その他には、自由業、学生を含む。